

VMware Cloud on AWS の保護

IT の責任者は、ハイブリッドクラウドの採用を成功させるための確実な戦略を必要としています。VMware Cloud on AWS は、Amazon のパブリッククラウド上で、VMware のエンタープライズクラスの Software-Defined Data Center (SDDC) ソフトウェアを提供します。クラウドデジタルトランスフォーメーションでは、ハイブリッドクラウドのアプローチを採用する企業が増えています。しかしながら、エンタープライズのハイブリッドクラウド環境においては、IT の責任者の多くが次のような共通の課題に直面します。

- 複数の仮想マシンパッケージが存在するため、移行が複雑である
- ネットワークとプロトコルハンドシェイクの不整合により、一貫性のある方法で運用・管理できない
- セキュリティの基準が異なるため、エンドツーエンドでワークロードを可視化・制御できない

VMware は、世界中のオンプレミスデータセンターにおいて何万もの導入実績を誇る、その性能が実証済みのプラットフォームです。VMware Cloud for AWS は、柔軟性の高い専用のベアメタル AWS インフラストラクチャで実行される、オンデマンドのサービスで、vSphere、VMware vSAN、および VMware NSX 仮想化テクノロジーの

統合 SDDC プラットフォームである、VMware Cloud Foundation が活用されています。VMware Cloud on AWS は、シームレスにアカウントを統合することにより、AWS 上でこの VMware SDDC スタックの活用を可能にします。この統合ソリューションによって、複数の管理ツールを組み合わせて使用する必要がなくなり、IT 部門はこれまでと同じ VMware vCenter ツールをハイブリッドのワークロードのオーケストレーションにも継続して使用できるようになります。

VMware での FortiGate 次世代ファイアウォールの活用

VMware vSphere や vCloud で FortiGate 次世代ファイアウォール仮想アプライアンスを活用することで、実証済みの確かなセキュリティを維持するとともに、VM ベースのパッケージによる優れた ROI、迅速なプロビジョニング、East-West トラフィックの可視性、制限のない拡張性、および統合が実現します。FortiGate は、ハイブリッドクラウドの拡張とセグメンテーションに最適な次世代ファイアウォールです。この仮想アプライアンスにより、ハイパーバイザーとクラウドプラットフォームの間でポリシーの一貫性が確保され、プライベートクラウドとパブリッククラウドとの間でセキュアなアプリケーション移行が可能になります。



図 1 : VMware Cloud on AWS のアクセスフロー

すべてのパブリック AWS リージョンで 高度なセキュリティを実現

FortiGate 仮想アプライアンスと CloudFormation テンプレートは、現在すべての AWS リージョンで利用できます。柔軟性の高い BYOL (Bring-Your-Own-License) 永続ライセンス、あるいは従量課金型の PAYG (Pay-As-You-Go) オンデマンドライセンスのオプションを選択可能です。フォーティネットの FortiGate 仮想ファイアウォールテクノロジーは、最先端の検査機能と包括的で強力なセキュリティ機能の組み合わせによって、コンテンツおよびネットワークの完全な保護を実現します。アプリケーション制御、ウイルス対策、IPS、Web フィルタリング、VPN などの優れたセキュリティ、そしてトップクラスの脅威データベース、脆弱性管理、フローベース検査などの高度な機能をすべて組み合わせることで、セキュリティに対する最新の複雑な脅威を特定し、減災します。強力なセキュリティを提供する FortiOS オペレーティングシステムは、マルウェアの検査と識別を考慮した専用の設計と、SR-IOV (Single Root I/O Virtualization and Sharing) の完全サポートによって、高速かつ安定したパフォーマンスを実現します。

EDRS (Elastic Distributed Resource Scheduler) による vCenter 環境から AWS へのワークロードの移動にあたっては、両方の環境で FortiGate ファイアウォールを使用し、サービスを中断することなく、一貫したセキュリティポリシーを継続して適用できます。

単一論理ビューによるハイブリッド機能の有効化

VMware Cloud on AWS は、VMware が販売し、サポートするオンデマンドの VMware サービスで、ハイブリッド環境の共通コントロールプレーンを提供します。新しいソリューションアカウントが VMware によって自動作成されるため、AWS の SDDC スタックの展開が効率化されます。お客様自身が AWS リージョンを選択し、自社の AWS アカウントを使用して AWS の各アベイラビリティゾーンへとデータセンターを拡張し、アプリケーションの移行、ディザスタリカバリ / セカンダリバックアップサイト、クラウドバースティングの即時実行、データの健全性確保などの課題を解決することができます。

フォーティネット セキュリティ ファブリックによる ハイブリッドクラウドコラボレーション型セキュリティ

フォーティネット セキュリティ ファブリックは、フォーティネットのエンタープライズファイアウォールを基盤として構築されており、支社、キャンパス、データセンター、内部セグメンテーションのいずれの環境においても、単一の統合オペレーティングシステムによる相互接続によって、シンプルかつスムーズな導入と制御が可能になります。フォーティネットのエンタープライズファイアウォールソリューションは、ネットワークのセグメンテーションによって、トラフィック、デバイス、およびデータの確実な分離を実現し、強力な制御を可能にします。さらに、脅威の発見と同時に環境内のすべてのファイアウォールを動的に更新できるため、新たな脅威からも保護されます。

包括的クラウドセキュリティ

フォーティネット セキュリティ ファブリックは、エンタープライズネットワークの拡大に伴うクラウド深部へのファブリック拡張に対応します。プライベートクラウド環境はもちろん、パブリッククラウドの IaaS 環境にも仮想ファイアウォールを導入し、North-South および East-West の詳細なマイクロセグメンテーションを実現できます。フォーティネットのクラウドセキュリティと既存のエンタープライズファイアウォールの連携によって、クラウドまたはオンプレミスのどちらにアプリケーションに置く場合でも、まったく同じ強力なセキュリティ、インテリジェンス、そして動的なリスク減災機能がシームレスに拡張され、実行されます。

これにより、vSphere ベースのプライベート、パブリック、およびハイブリッドのクラウド環境で、任意のアプリケーションを実行できるようになります。VMware が提供、販売、サポートする、柔軟性と拡張性に優れたオンデマンドのこのサービスを利用することで、AWS のグローバルかつ幅広いサービスを活用できるというメリットがもたらされます。

オンプレミスとクラウドのどちらにおいても VMware アーキテクチャの一貫性のあるセキュリティと運用環境が実現することにより、企業組織の IT 部門では AWS および VMware のハイブリッドクラウド環境からすぐにビジネス価値がもたらされるという大きなメリットを享受可能になります。

FORTINET®

フォーティネットジャパン株式会社

〒106-0032

東京都港区六本木 7-7-7

Tri-Seven Roppongi 9 階

www.fortinet.co.jp/contact

お問い合わせ